

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	器質性構音障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期 2-4限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	前川圭子	実務経験と その関連資格	音声言語認定士の資格を有する。言語聴覚士になって以降現在まで継続的に、機能性、器質的構音障害の治療を担当してきた。			
《授業科目における学習内容》						
口蓋裂に伴って生じる問題を理解し、援助方法を学ぶ。 器質性構音障害の生じるメカニズムが理解できる。 構音や鼻咽腔閉鎖機能の評価・治療法が理解できる。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:佐藤亜紀子他「小児発声発語障害」建帛社 参考図書:岡崎恵子他「口蓋裂の言語臨床」医学書院						
《授業外における学習方法》						
配布資料や教科書に目を通す						
《履修に当たっての留意点》						
機能性構音障害の復習をしてください。積極的な授業参加を期待します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語器官・構音器官の解剖生理について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	発声発語器官・構音器官の解剖生理を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	口蓋裂の発生、解剖、起因する障害について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	器質性構音障害とは何か。口蓋裂の発生、解剖、口蓋裂に起因する疾患や障害について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	口蓋裂の治療スケジュールを理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	一般的な口蓋裂の治療スケジュールについて学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	口蓋裂関連疾患、口蓋裂以外の器質性構音障害について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	口蓋裂関連疾患、口蓋裂以外の器質性構音障害について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻咽腔閉鎖機能について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	鼻咽腔閉鎖機能と評価法について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常構音について理解する	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	正常構音の構音点、構音様式について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻咽腔閉鎖機能不全と関連の深い異常構音について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	鼻咽腔閉鎖機能不全と関連の深い異常構音の構音点、構音様式について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻咽腔閉鎖機能不全と関連の少ない異常構音について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	鼻咽腔閉鎖機能不全と関連の少ない異常構音の構音点、構音様式について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音の音響学的特徴を理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音の音響学的特徴を学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	構音検査法について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音検査法の実習		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	構音障害の治療に必要なその他の検査法を理解し説明できる	同上に加えて、ことばのテスト絵本、舌圧子、鼻息鏡	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	発達スクリーニング、聴力検査法、口腔内評価を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音指導法について理解し説明できる	同上に加えて、ことばのテスト絵本、舌圧子、鼻息鏡	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音指導法概論		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	構音指導を実際に体験し、指導法を説明できる	同上に加えて、ことばのテスト絵本、舌圧子、鼻息鏡	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音指導法実習		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達支援、心理的支援、社会的資源の活用について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	発達支援、心理的支援、社会的資源の活用について学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第1～14回の内容を理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	演習とまとめ		